



自民大敗 自公で過半数割れ

衆院選「政治とカネ」に国民の審判

石破茂首相の就任から解散、就任から衆院選の投開票までの期間のいずれも戦後最短という異例の第50回衆院選は、10月27日投開票され、15年ぶりに自民、公明両党で過半数を割る結果となりました。

与党は、64議席減(自民56減、公明8減)の215議席の獲得にとどまり、国会運営上、重要な議席数である過半数(233議席)を割る一方、立憲民主党は50議席増の148議席、国民民主党は4倍の28議席、れいわ新選組は3倍の9議席と大幅に議席を拡大。「自民一強」体制は崩壊。「政治とカネ」問題が大きく影響した選挙となりました。

今月召集される特別国会での首班指名や今後の政権の枠組みが注目されます。



当選確実を示すバラを付ける石破首相(中央)
10月27日午後9時49分、自民党本部で(写真:読売新聞)

日本被団協にノーベル平和賞

ノルウェーのノーベル委員会は10月11日、今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)に授与すると発表。授賞理由について、「一つは、核兵器のない世界の実現に尽力して

きたこと。もう一つは、核兵器が二度と使われてはならないと証言してきたことだ。被爆者の存在は『唯一無二』だ」としています。



日本被団協の受賞の喜びの記者会見。10月12日

ノーベル委員会のヨルゲン・ワトネ・フリドネス委員長は、インタビューで、被爆者とその証言が、核兵器を『二度と、決して使ってはならない兵器』という世界的な規範「核のタブー」を確立し、世界的な広がりを持たせたと述べています。

日本被団協は10月28日に「今年の授賞の理由を知ったとき、その内容が簡潔にしてしかも的確に『日本被団協』の組織と運動の根幹が理解され、評価されていることに感動しました。すでに亡くなった多くの先達とこの喜びを共にしたいと思います」との声明を発表しました。

唯一の戦争被爆国の日本政府には、来年3月の核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加、さらに条約への署名・批准が求められます。

北朝鮮兵のロシアへの派遣

国民を侵略遂行のための使い捨ての道具に

ウクライナ国営通信は10月15日、計3000人の北朝鮮兵がロシア軍の複数の部隊に所属していると報じました。韓国の情報機関は、北朝鮮が決めた派遣の規模は約1万2000人に達すると指摘しています。国連安保理決議は、北朝鮮からの武器調達や、出稼ぎの北朝鮮国民の雇用を禁じています。

東戸塚9条の会 勉強会

11月9日(土)10:00~12:00

戸塚地区センター

参加費無料・事前申込不要

9の日宣伝

11月9日(土)12:30~13:30

JR東戸塚駅改札口付近

ピラマキ・アピールなど

平和川柳「めざせ!! 立憲野党で過半数」

ザケンジャネエ 非公認にも 二千万

核共有 ノーベル賞と 思い逆

女川を 安全無視で 再稼働



東戸塚9条の会HP

過去最大の日米共同統合演習——台湾有事も念頭

「軍事対軍事」で戦火招く危険

自衛隊と米軍による過去最大規模の日米共同統合実動演習(演習名「キーン・ソード」=意味は鋭い剣)が10月23日から11月1日まで、沖縄県など南西諸島を中心に、全国各地で行われました。

安保3文書「戦争国家作り」の一環

台湾有事での中国と米国の武力衝突も想定しているとみられ、最前線の南西諸島をはじめ、米軍のアジア最大の出撃・中継・補給拠点である日本が戦場になることを前提とした軍事演習です。2022年に策定した安保3文書に基づく「戦争国家づくり」の一環です。

過去最大の日米共同演習

キーン・ソードは1986年からおおむね2年に1回行なわれていて、今回は自衛隊からは隊員3万3000人、艦艇30隻、戦闘機250機、米軍からは隊員1万2000人、艦艇10隻、戦闘機120機がそろって参加、実際の部隊を動かします。規模は、過去最大の自衛隊と米軍を合わせ4万5000人に上り、過去最大規模の演習となりました。豪軍とカナダ軍も訓練の一部に加わりました。



日本の戦場化を想定した訓練

日本が戦場になることを前提にした訓練として象徴的なのは、台湾に近い与那国島や石垣島から沖縄本島への患者輸送訓練です。与那国島では、住民や観光客の島外への避難訓練も行うとしています。

このほか、沖縄本島での滑走路被害修復訓練やCBRN(化学・生物・放射線・核)兵器による攻撃に対処する訓練があります。滑走路修復訓練は、那覇空港や米空軍嘉手納基地が攻撃される事態を想定しているものとみられます。

攻撃を受け空自基地が使用できなくなる事態を想定し、空自の戦闘機などが民間空港を使う訓練も実



施しています。使用空港は、長崎、熊本、宮崎、奄美(鹿児島県)、徳之島(同)など九州全体に及びます。

空港に加え、部隊や装備の輸送などのため各地の民間港湾が使われているのも重大です。

患者輸送訓練では、米海兵隊と陸自の垂直離着陸輸送機オスプレイが初めて与那国島に飛来しました。その陸自のV22オスプレイは同駐屯地を離陸の際、地面に接触する損傷事故を起こし、陸自は保有する全17機の飛行を中止しました。改めてオスプレイの欠陥ぶりが示されました。

対中国の攻撃拠点にも

南西諸島は、中国に対する日米の攻撃拠点にもなります。米海兵隊は石垣島で、ミサイルも装備可能なハイマースを新石垣空港まで空輸し、陸自の石垣駐屯地に展開する訓練を初めて実施しました。陸自は地対艦ミサイル部隊などによる敵艦船への攻撃訓練を実施、同部隊が装備しているミサイル(12式地対艦誘導弾)は相手国の領土に撃ち込む敵基地攻撃兵器とし長射程化され、2025年度に配備予定です。

